



香川民医連 号外

2024年2月26日
全日本民医連総会号③
発行者 県連事務局

23日は会場ごとに分科会で活発な意見交換



最終日、新しい理事体制を選出
原田院長は引き続き理事に再任



【総会2日目 分散会で香川の代議員は全員発言をしました】(原田理事レポート)

2日目は総会に出席した代議員が13か所に分かれた分散会に参加しました。合わせて600を超える発言があり、それぞれが民医連の理念浸透、平和への取り組み、ケアの倫理、ともに学びあう育成など、全国各地で患者さんや地域に寄り添う民医連職員の姿がいきいきと感じられる報告でした。香川から参加した代議員も全員発言しました。大西会長は分散会座長として活躍しました。

寒川代議員の報告：平和病院に次々に来る困難に満ち溢れた患者さん、手遅れ死亡事例が今年も4件の報告があがっていることをふまえ、積極的に病院の外、地域へ打って出るアウトリーチをすすめていきたい。今年の各分散会では円卓に代議員が座り、報告の合間にスモールグループでのディスカッションを数回行いました。報告を聞くだけの受け身ではなく、適度なアウトプットがされたことが特徴でした。

3日目は座長が推薦する9本の発言がされました。函館のまちの保健室、岡山の環境委員会、福岡の外科専門医養成、新潟水俣病、辺野古連帯行動、全職員の経営参加、青年ジャンボリーなど多彩な取り組みが報告され、どれもすぐれた・素晴らしい発言で民医連魂を揺さぶられました。

その後、決算・予算・役員投票結果・総会方針/スローガンの確定が行われ、第46期の体制が確立されました。次回は、2年後の岩手での開催となります。香川でも次の2年間、全国の活動に学び、たくさんの多彩な取り組みを行えたらと思います

沖縄では、すでにあちこちにサクラが！！



お疲れさまでした。



2/24(土)大会終わって
岐路に着きました。

